

「芝浦アーバンデザイン・スクール」プロジェクト

代表者 前田英寿【教授】（建築学部建築学科・デザイン工学部 デザイン工学科兼任）

構成員 桑田仁、篠崎道彦、谷口大造（建築学部 建築学科・デザイン工学部 デザイン工学科 兼任）／
横山太郎、藤原紀沙（デザイン工学部 デザイン工学科 建築・空間デザイン領域）

プロジェクトの概要

芝浦アーバンデザインスクールは学びを通して建築、都市、地域の未来を探るプロジェクトである。大学が行政、市民、企業と関わりながら建築都市計画における教育、研究、社会貢献、国際交流、地域連携を融合的に展開することを目的とする。国内外・学内外に開かれた場になるようまちづくりの国際用語アーバンデザイン (Urban design) を用いる。2013年度から東京都港区芝浦海岸地区で始動、2016年度からさいたま市浦和美園地区を加えて都心と郊外、既成市街地と新市街地、水辺と内陸など対比かつ相補しながら進めている。2014年韓国、2015及び2017年タイ、2016年マレーシアから協定校を招いて東京都港区を題材に、2015年マレーシアと2016年タイに出向いて同様の都心水辺地区を題材に現地でワークショップを行った。2016年度からはさいたま市浦和美園と千葉県柏市それぞれの地域まちづくり組織アーバンデザインセンターに参加している。

COC活動の成果

【教育】

地域に実在する建築物や都市空間を題材とする建築都市計画演習をデザイン工学科3年後期プロジェクト演習8で行った。毎年40名以上履修した（卒業研究着手条件）。2013-15年度港区文化財旧協働会館（木造）と2016～17年度芝浦地区築40年ビル（RC造）を題材とした。

【研究】

行政機関や地域組織など学外から課題を募って研究し提案した。

- ①東京都港区芝浦地区の都市形成に係る調査を行い、日本建築学会、SEATUCシンポジウム、COC全国大会で発表した（2015～16）。
- ②浦和美園（みその）都市デザインスタジオ：アーバンデザインセンターみそのとさいたま市から題材を提供してもらいマスタープランの提案（2016）、竹製街具の提案・試作・使用実験（2017）を行った。

【社会貢献】

- ①教員による公開講座：本学主催『水辺の都市』（2013～16）。港区芝浦港南地区総合支所『知生（ちい）きん養成プロジェクト』（2016～17）。
- ②成果の公開：本学芝浦キャンパス玄関ホールでの展覧会（2013～14）、芝浦運河まつりと港区芝浦港南地区総合支所行事（2013～17）へ出展。

【国際交流】

- ①上記の教育、研究、社会貢献に日本人学生と留学生が共に参加した。
- ②協定校を招いて東京都港区を題材に国際ワークショップを実施した。本学と協定校各約10名学生参加した。韓国中央大学（2014）、タイ・モンクット王工科大学（2015と2017）、マレーシア工科大学（2016）。

【地域連携】

さいたま市浦和美園と千葉県柏の各アーバンデザインセンターに参加した（2016-17）。

※2015年度日本工学教育協会工学教育賞（業績部門）『建築都市計画PBLにおける国際交流と地域連携を通じた教育・研究・社会貢献の融合』を受賞した。



竹製街具の組立作業



芝浦運河まつり



国際ワークショップ発表講評会

主なトピックス

仮設建築の提案と竹製街具の試作

当プロジェクトの研究活動として埼玉スタジアムのあるさいたま市浦和美園のまちづくり組織であるアーバンデザインセンターみそのが主催する浦和美園(みその)都市デザインスタジオに2016年度から参加している。2017年度のテーマは「仮設的・暫定的空間利用から紐解く次世代の市街地デザイン」。都市デザイン(前田英寿)研究室と構造デザイン(横山太郎)研究室が共同で区画整理区域に木造仮設建築を4つ提案した。2月28日現地視察、3月28日みその都市デザイン協議会と意見交換、4月25日中間発表、5月30日最終発表。デザイン工学科4年13名と修士1年1名が参加した。

上記4案から傘状の竹製街具を試作し使用実験した。

①アーバンファニチャ(竹製街具)試作

組立10月16日～17日学生8名・浦和美園まつり10月28日学生4名
企画：みその都市デザイン協議会／設置：さいたま市浦和東部まちづくり事務所／管理運営：(一社)美園タウンマネジメント／施工：さいたま県産木材住宅促進センター／協力：埼玉高速鉄道株式会社・埼玉スタジアム2002公園管理事務所／原案監修：芝浦工業大学

②滞留空間創出社会実験 美園マチなかロビー

10月29日～11月3日浦和美園駅前／主催：みその都市デザイン協議会／運営：(一社)美園タウンマネジメント協会／協力：埼玉高速鉄道株式会社／調査監修：ソトノバ



仮設建築の提案 浦和美園(みその)都市デザインスタジオ
主催：アーバンデザインセンターみその



竹製街具の試作 滞留空間創出社会実験「美園マチなかロビー」
主催：みその都市デザイン協議会

国際ワークショップ 東京のお年寄り

当プロジェクトは本学スーパーグローバル大学(SGU)事業と連動して海外協定校を招いて港区など東京港南地区を題材に国際ワークショップを行っている。2017年度はタイ国バンコクのモンクット王工科大学トンブリ校(KMUTT)から建築デザイン学部4年12名教員2名を招いて本学デザイン工学科4年12名教員2名と合同で「東京のお年寄り」をテーマに8日間の実習(グローバルPBL)を行った(7月3日～10日)。港区立施設、白金台いきいきプラザ・児童館を題材に取り上げ、現地の資料提供と視察案内、関連施設見学、発表講習会への参加など港区の協力を仰いだ。



国際ワークショップ 「東京のお年寄り」
東京都港区白金台いきいきプラザ・児童館

運河沿いビル 改築・転用の設計演習

当プロジェクトは地域に実在する建築物や都市空間を題材とする建築都市計画演習をデザイン工学科3年後期プロジェクト演習8で行っている。2016年度からは芝浦キャンパスに近い運河沿いにある築40年の鉄筋コンクリート7階建てビルを題材としてリノベーション(改築)とコンバージョン(転用)の企画から設計まで演習を行っている。現地の資料提供と視察、関連する特別講義、発表講習会への参加など、このビルを管理する不動産企業の協力を仰いだ。建築・空間デザイン領域3年全41名、留学生がフランス1名、ロシア2名、タイ1名が履修した。



運河沿いビルのリノベーション設計演習 現地視察